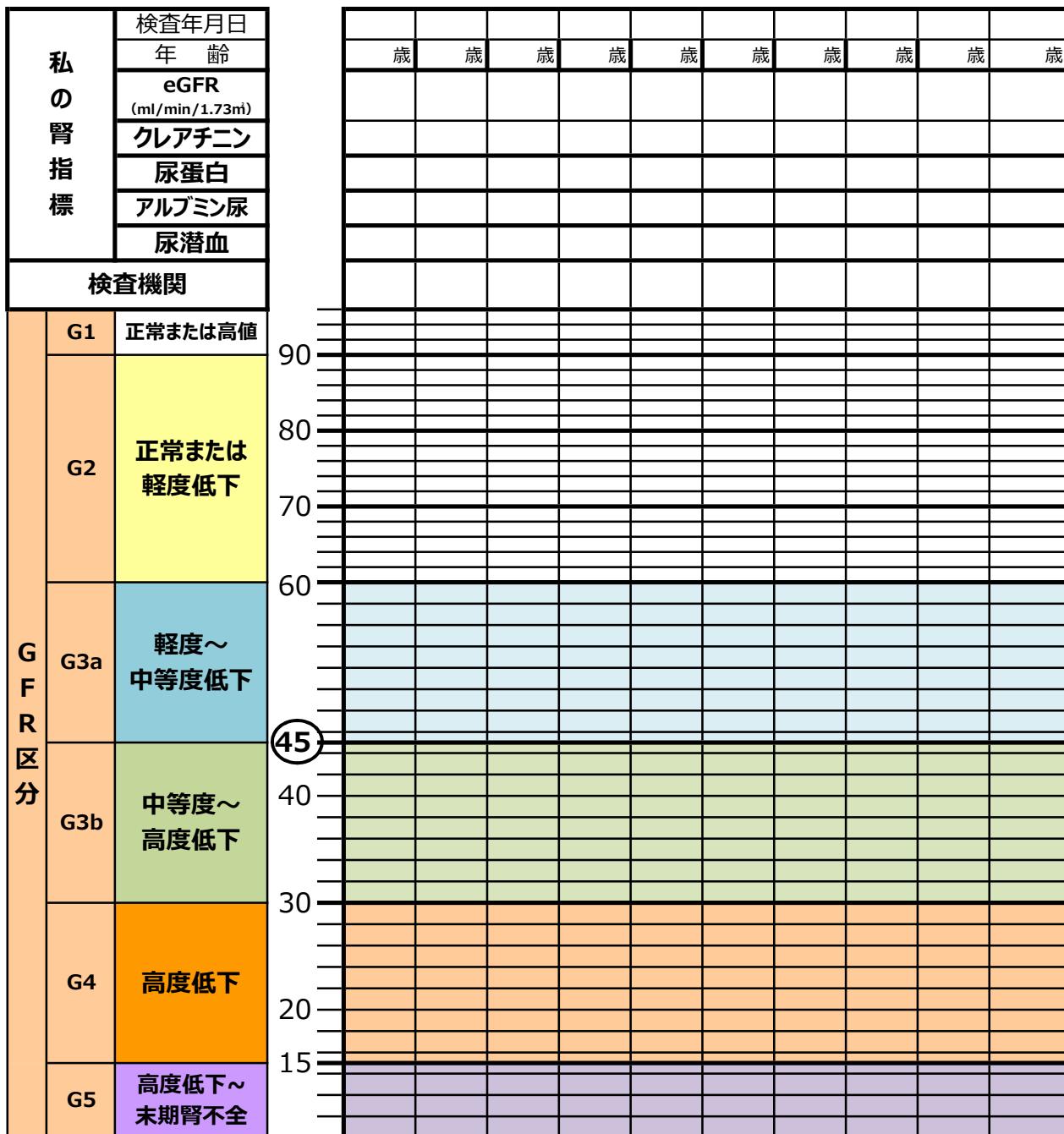


腎機能の経過をみよう (GFRのグラフ)

特定健診結果から尿検査とeGFRを表に書き入れてみましょう



慢性腎臓病 (CKD) の定義 <①または②のいずれか、または両方が3カ月以上持続することで診断する>

①尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らかなこと

特に0.15 g /gCr以上の蛋白尿 (30mg/gCr以上のアルブミン尿) の存在が重要

②GFR <60ml/分/1.73m²未満

酵素法で測定されたCr値を用いる。18歳以上に適用する

腎臓専門医への紹介基準	①高度の蛋白尿 A3区分 (尿アルブミン 300mg/gCr以上、尿蛋白 0.50g/gCr以上、または+以上)
	②微量アルブミン尿 (尿蛋白 0.15～0.49g/gCr) A2区分でGFR区分がG3a以上
	③尿蛋白正常区分 A1区分でGFR区分がG3b以上
	④尿蛋白区分がA2であっても、血尿 (+) ならGFR区分G1、G2も紹介
	⑤尿蛋白区分がA1でも40歳未満でGFR区分がG3aの場合は紹介

<CKD診療ガイドライン2018・2023 (日本腎臓学会編) より>